貸 借 対 照 表

（平成２５年　３月　３１日現在）

株式会社ADSエンジニアリング　　（単位:円）

科目	金額	科目	金額
（資産の部）		（負債の部）	
（流動資産）	**304,528,740**	**（流動負債）**	**89,409,541**
預金	297,858,048	未払金	56,943
前払費用	569,354	未払法人税等	91,200
未収入金	3,911,338	未払費用	89,073,750
仮払金	2,190,000	預り金	22,336
		リース債務	165,312
（固定資産）	**19,240,813**	**（固定負債）**	**250,606,144**
有形固定資産	**18,030,813**	関係会社長期借入金	250,000,000
機械装置	17,097,252	リース債務	606,144
工具器具備品	198,841		
リース資産	734,720		
		負債合計	340,015,685
投資その他の資産	**1,210,000**		
その他の投資等	1,210,000	（純資産の部）	
		（株主資本）	**△ 16,246,132**
		資本金	80,000,000
		利益剰余金	△ 96,246,132
		純資産合計	**△ 16,246,132**
資産合計	**323,769,553**	**負債及び純資産合計**	**323,769,553**

減価償却累計額　　5,553,228　円

株式会社 ADS エンジニアリング

個　別　注　記　表

平成 24 年４月１日から
（　平成 25 年３月 31 日まで　）

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

１．固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産（リース資産を除く）
定率法

(2) リース資産
所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産
リース期間を耐用年数とし、残存価額を零として算出する定額法によっている。なお、リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引のうち、リース取引開始日が企業会計基準第 13 号「リース取引に関する会計基準」の適用初年度開始前のリース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

２．その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

(1) 消費税等の会計処理
消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっている。

（当期純損益金額）

当期純損益金額　　△96,246,132 円